

事業評価調書

◎基本情報

年度	令和5年度	会計コード	10	一般会計	事業コード	70180
事業名	避難場所整備費					
評価担当課	所 属	危)危機管理部 危機管理課			電話番号	011-211-3062
施策名	地震災害や風水害・雪害といった自然災害や感染症の感染拡大など					
アクションプラン	● 対象 ○ 対象外					
事業の性質	○ 経常経費 ● 臨時的経費			○ 内部管理 ○ 法定経費 ○ 指定管理費		
	○ 直営 ● 一部委託 ○ 全部委託 ○ 補助・助成 ○ その他					

事業内容	事業の背景(現在の状況、社会的課題)	①小中学校の統廃合及び浸水被害想定の改定に伴い、指定避難所(基幹)が減少し、歩行距離2km圏外となるエリアの増加が見込まれている。 ②平成30年北海道胆振東部地震の発生により、市内全域においてブラックアウトが発生し、開設した各避難所において、インフラ(照明・給水・暖房)に課題が見受けられた。避難所における各電気機器の使用や携帯電話の充電等を目的に可搬型発電機を備蓄しているところであるが、避難所施設における暖房設備等は使用できず、厳冬期における避難所運営の課題が解消されていない。 ③各避難場所標識が経年劣化し、強風や大雪により折損等の破損が発生しており、今後、折損等に伴う被害が発生する可能性がある。
	事業内容(何を実施し)	①避難場所指定状況の調査:災害危険度及び想定避難者数等の調査を行う。 令和5年度にて調査が終了し、指定状況の見直し検討を継続実施中 ②非常電源の整備:区体育館のインフラ強化として非常電源を整備し、停電対策(暖房、照明、トイレ)を実施する。 令和5年度実績なし ③避難場所標識の撤去:自立式標識の撤去及び代替標示を行う。 令和5年度にて対象の調査を実施し、令和6年度より標識の撤去を実施
	どのような状態にしたい(状態を維持したい)	①冬期間の避難所における停電対策を充実したい。 ②安全性の高い避難場所の標示を行いたい。
	他都市の状況	冬期間における避難所の暖房対策について、条件や規模が一致する有効な他都市事例は確認できていない。
	市民参加の実施	☐ 企画 ☐ 実施 ☐ 評価 ☒ 対象外

令和4年度決算額	0 千円	うち特定財源	0 千円	正規職員業務量	0 人工
令和5年度予算額	16,000 千円	うち特定財源	0 千円	正規職員業務量	3 人工
令和5年度決算額	16,747 千円	うち特定財源	0 千円	正規職員業務量	3 人工
令和6年度予算額	65,000 千円	うち特定財源	0 千円	正規職員業務量	3 人工

指標	アウトプット活動指標1	指定避難所(基幹)のうち、区体育館を対象にインフラ強化を			という活動、業務を行うことで		
		令和4年度実績	令和5年度予定	令和5年度実績	令和6年度予定	令和7年度予定	令和8年度予定
		0箇所	0箇所	0箇所	0箇所	0箇所	2箇所
	↓						
	アウトカム成果指標1	停電時に暖房設備を使用できる区体育館の割合			という状態にしたい、成果を挙げたい		
		令和4年度実績	令和5年度予定	令和5年度実績	令和6年度予定	令和7年度予定	令和8年度予定
		20%	20%	20%	20%	20%	40%
	指標1の評価、未達理由、今後の考え方	計画的に避難所のインフラ強化を実施する。					
	アウトプット活動指標2				という活動、業務を行うことで		
		令和4年度実績	令和5年度予定	令和5年度実績	令和6年度予定	令和7年度予定	令和8年度予定
	↓						
	アウトカム成果指標2				という状態にしたい、成果を挙げたい		
		令和4年度実績	令和5年度予定	令和5年度実績	令和6年度予定	令和7年度予定	令和8年度予定
	指標2の評価、未達理由、今後の考え方						

今年度の見直し内容	区体育館の非常電源整備に係る基本計画検討に着手
来年度以降の方向性	順次、区体育館の非常電源を設計・整備